

## 《上部消化管内視鏡検査を受けられる患者様へ》

はじめに 消化管の検査はバリウムなどの造影剤を用いたX線撮影でも検査が可能です。この説明書、同意書はそれらの検査の説明を受けられ、内視鏡検査を選択された方にさらに具体的に説明するものです。この説明書を読まれて他の方法を検討されたい方は担当医または看護スタッフに遠慮なくお申し出ください。

上部消化管内視鏡検査は口から直接内視鏡を入れ食道、胃、十二指腸などを観察する検査です。潰瘍、ポリープ、癌、炎症などの病気の診断や治療を内視鏡を用いて行います。

当院では、皆様の安全で正確な内視鏡検査を心がけております。いくつかの点に関して検査前にご注意がございますのでお読み下さい。

麻酔アレルギー 嘔吐反射を防ぐため、上部内視鏡検査（胃カメラ）の前に、のどにキシロカイン麻酔を行います。まれにこの薬によるアレルギー反応がありますので、以前内視鏡検査や歯の治療で気分が悪くなったことがあればお申し出ください。

注射 通常、検査をしやすくするために胃や腸の動きを止める薬（抗コリン剤）を使います。緑内障、前立腺肥大、心臓病、甲状腺機能亢進症の経験のある方は薬の使用を控えますのでお申し出ください。検査を楽にするために軽い静脈麻酔を行う場合がありますが、この薬の使用後は眠気が残ることがあるので車での来院は控え下さい。

内視鏡の挿入、観察 内視鏡の挿入の際には曲がったり、体内の細くなった部分を内視鏡が通ります。そのため、まれにのどや胃などの消化管を傷つけたり、出血、穿孔（孔があく）等が起こることがあります。また、検査中異常が見つかった際に病変から小さな組織を採取する場合があります（生検）、少量の出血を伴います。通常は自然に止血しますがまれに出血が続く輸血などの処置が必要なことがあります。血液をサラサラにする薬（ワーファリン、パナルジン、バファリン）を服用中の方や肝臓病の方ではその危険性が増すため、組織検査をできるだけ控えますのでお申し出下さい。

日本消化器内視鏡学会による集計（2001）では内視鏡検査に伴う偶発症（ショック、出血、穿孔など）の頻度は0.007%で、死亡率は0.00045%でした。このような偶発症の発生は事前に予測する事が不可能です。また場合によっては入院の上、止血処置や手術などが必要になることもあります。

検査後について 検査後はのどの麻酔や注射の影響が残りますし、生検などを行っている場合がありますので検査施行医の指示に従ってお過ごし下さい。特に静脈麻酔を受けられた方は指示を厳守して下さい。いずれの場合でも検査当日は飲酒、スポーツなどは控えゆっくりとお過ごし下さい。検査後に体の違和感や出血、黒い便（出血の証拠）などにお気づきの場合は遠慮なくご連絡ください。

連絡先 TEL 0258-35-3700（代表）

日中：内視鏡室 夜間：救急外来

27. 7. 06

27. 4. 17

### 同 意 書

私は、上部消化管内視鏡検査について、その目的と偶発症などにつき上記の説明を受け了解いたしました。つきましてはその実施を依頼します。

医 師

氏名

吉田 矢野 彰

平成 27 年 4 月 16 日

患 者

氏名

[REDACTED]

配偶者・親


氏名

[REDACTED]

厚生連長岡中央総合病院 病院長 殿

# 造 影 剤 問 診 表

以下の質問にお答え下さい。回答欄に○をつけ、必要な場合には( )内に具体的に記入してください。

質 問 事 項	回 答 欄	備考欄
1. 以前にも、造影剤を使用した検査を受けたことがありますか？	(具体的に) <u>ある</u> CT・MRI・その他 ( )	<u>ない</u>
2. 造影剤で副作用を経験されたことがありますか？	(具体的に) <u>ある</u> 嘔気嘔吐・じんま疹 血圧低下・その他 ( )	<u>ない</u>
3. 気管支喘息はありますか？	<u>ある</u> (治療中・治療している)	<u>ない</u>
4. 薬や食品で皮膚に発疹やじんま疹が出来たり、体の具合が悪くなったことがありますか？	<u>ある</u>	<u>ない</u>
5. アレルギーはありますか？	<u>ある</u> アトピー・アレルギー性鼻炎 その他 ( )	<u>ない</u>
6. 薬物副作用カードはありますか？	<u>ある</u>	<u>ない</u>
7. 心臓病はありますか？	<u>ある</u>	<u>ない</u>
8. 甲状腺の病気はありますか？	<u>ある</u>	<u>ない</u>
9. 腎臓病はありますか？	<u>ある</u>	<u>ない</u>
10. 透析治療を受けていますか？	<u>受けている</u>	<u>いない</u>
11. 現在妊娠の可能性はありますか？ (女性のみ)	<u>ある</u>	<u>ない</u>
12. 現在の体重 <u>49</u> kg	<div>担当者確認署名欄</div> <div></div>	

## 造 影 剤 検 査 同 意 書

(病院控)

長岡中央総合病院 病院長 殿

私は、4月16日のCT 検査で造影剤を使用することについて別紙の説明書にもとづき

内科 医師 吉田 より説明を受け、質問する機会を得ました。

造影剤の必要性やその副作用について理解した上で以下のように同意いたします。

主治医・検査担当医の判断により検査で造影剤の使用が必要とされた場合

①. 造影剤を使用することに同意します。

予期せぬ事態の際の緊急処置が適宜行われることも同意します。

2. 造影剤の使用は希望しません。

造影剤を使用しないために診断の精度が低くなることもあることも理解しました。

記入日 27 年 4 月 16 日

住 所 長岡市中央1-2-8

本人 氏名 吉田 太郎

代理人氏名 (続柄)

緊急連絡先 02-6583-XXXX

0179110-3

10/10/10

54.09.10 1959 M

8西・内科

27 05 10

## 《中心静脈カテーテル留置を 受けられる患者様へ》

### 【中心静脈輸液について】

中心静脈輸液は、手術前後や体力消耗が著しい患者さん、食事での栄養摂取が長期的にできない患者さんに対し心臓の近くの太い静脈に太さ約2mmの細い管（中心静脈カテーテル）を挿入・留置し、このカテーテルから点滴をする方法です。手足の血管からは注入できない栄養分、高いカロリー、水分の補給が可能となり、また血管炎を起こしやすい特殊な薬剤の点滴もできるのが特徴です。また一度挿入すれば点滴漏れが生じにくく、両腕も自由になって長期の留置が可能です。

### 【中心静脈カテーテル留置法】

主に頸部、鎖骨上および鎖骨下、鼠径部（足の付け根）腕のいずれかよりカテーテル（細い管）を留置するため、同部位の皮膚を消毒して局所麻酔薬を注射した後、穿刺針を刺して静脈へ到達します。この針の中にカテーテルを通して管を留置します。

### 【中心静脈輸液の合併症】

カテーテル留置の際には、細心の注意をはらいますが、まれに以下のような合併症が起こります。

#### 1. 気胸・血胸

挿入時に肺や血管を傷つけて胸腔に空気や血液が漏れてしまった状態です。処置後は必ずレントゲン検査をして確認していますが、多量に漏れてしまった場合には空気や血液を吸い出すため管を入れることがあります（胸腔ドレナージ）。こうした処置をしても通常は5～7日で管を抜去することができます。

#### 2. 動脈穿刺

静脈の隣を走行している動脈に針があたってしまい、血液が周囲に漏れて皮下に血腫をつくる場合があります。通常は数日で腫れはひきますが、抗凝固療法（血液をサラサラにする治療）を受けている方や病気のために凝固能が低下している方は止まりにくい場合があります。

#### 3. カテーテルの位置異常

カテーテルの先端が誤った位置を向いてしまうことが時おりみられ、こうした場合には再挿入したり、レントゲン透視下で位置を直すことがあります。

#### 4. カテーテル熱（感染）

カテーテルに関連した感染症によって熱が出ることがあります。通常はカテーテル抜去ですみやかに解熱しますが、菌血症（菌が血液内に入り込んだ状態）を呈することがあります。

#### 5. 静脈内血栓症

長期の留置や薬剤により静脈血栓を生じたり、肺血栓・塞栓症を起こすことがあります。

#### 6. その他

高血糖、肝機能障害、電解質異常などがみられることもあります。

このような合併症が生じた場合には、薬剤の投与や輸血、追加の処置、手術を含めて最善の処置を行って対処させていただきますが、極めてまれに生命に関わる場合があります。

## 同意書

私は中心静脈カテーテル留置について、その目的と合併症につき上記の説明を受け了解しました。つきましてはその実施を依頼します。

医師

氏名

吉田 智幸

平成 27 年 5 月 10 日

患者

氏名

[Redacted Name]

配偶者

氏名

[Redacted Name]

厚生連長岡中央総合病院 病院長 殿

# 輸血および血漿分画製剤の使用と 自己血に関する説明と同意書

このたび治療を行うにあたり、別紙の説明書に従い

1. 輸血の効果と輸血しなかった場合の危険性
2. 血漿分画製剤の効果と使用しなかった場合の危険性
3. 輸血および特定生物由来製品についての危険性
4. あなたにとって特定生物由来製品が必要になると思われる理由
5. 自己血輸血の意義、副作用などについて
6. その他 ( )

について説明し、また、患者様からの質問にも答えました。

平成 27 年 05 月 23 日

長岡中央総合病院 説明医師

内科 吉田 智彰 署名又は印

長岡中央総合病院 病院長殿

私は、輸血と血漿分画製剤の必要性と危険性について説明を受け、十分に理解した上で輸血（血漿分画製剤使用、自己血輸血を含む）することに同意します。

また、緊急時、予想外の必要性で追加の血液製剤を使用することについても、適時処置されることに同意いたします。

平成 27 年 05 月 23 日

(本人)

住所

氏名

署名又は印

(親権者または代理人) (本人との続柄: )

住所

氏名

署名又は印

ご注意：患者様が未成年の場合には親権者が、また自分で記載できない状態の場合には代理人がご署名下さい。自分で記載できない理由 ( )

## 造影剤問診書

新潟県厚生連

長岡中央総合病院 病院長様

## 検査・手術同意書

私は、今回貴院で下記の検査・手術を受けるにあたり、その出来たり、体の具合が悪くなったこと  
 必要性と合併症につき担当医師から十分な説明を受けましたので、その実施につき同意いたします。

病名 (疑い): 横行型膵癌 + 十二指腸癌 波岡

検査法・手術名: 十二指腸癌切除術

担当医師: 志田 智彦

平成 27 年 7 月 6 日

合流症

アレルギー

肺炎

穿孔

出血

ス

患者氏名: 志田 智彦

住 所: 長岡市環南 2-2-28

代理人 氏名:

(患者との関係: )

本人 氏名

代理人 氏名

居住 地 住所



行おうと考えている治療は抗がん化学療法です。シスプラチン製剤＋イリノテカン製剤を使う予定です。通常、この治療法は肺癌に使用する抗がん剤で、大腸癌に用いる抗がん剤ではありません。しかし消化管神経内分泌腫瘍に対してはこの抗がん剤を使用でき、有用である場合があるとされています。

#### <化学療法のやり方>

・化学療法は以下の日程で行います。4週間で1クールです。2クール程行ったところで効果判定を行う予定です。

1 8 15 22 28  
○ ○ ○ ○ ○

#### ・副作用

腎機能低下、骨髄抑制、脱毛、嘔気、嘔吐、しびれ、食欲不振、下痢、しゃっくりなどがあります。木口さんの場合、食欲低下や下痢、嘔吐等の症状が出現すると、脱水症状で入院期間が延長したり、全身状態が悪化することが懸念されます。そのため、食事摂取がある程度できる状態から化学療法を始めたいと思います。

#### <その他>

もし他の病院の先生の考えを聞きたい、他の病院で治療を行いたい、この先生の治療を受けたいという場合は教えてください。

上記の説明を受けました

平成 27年 4月 25日

氏名

木口 千太郎